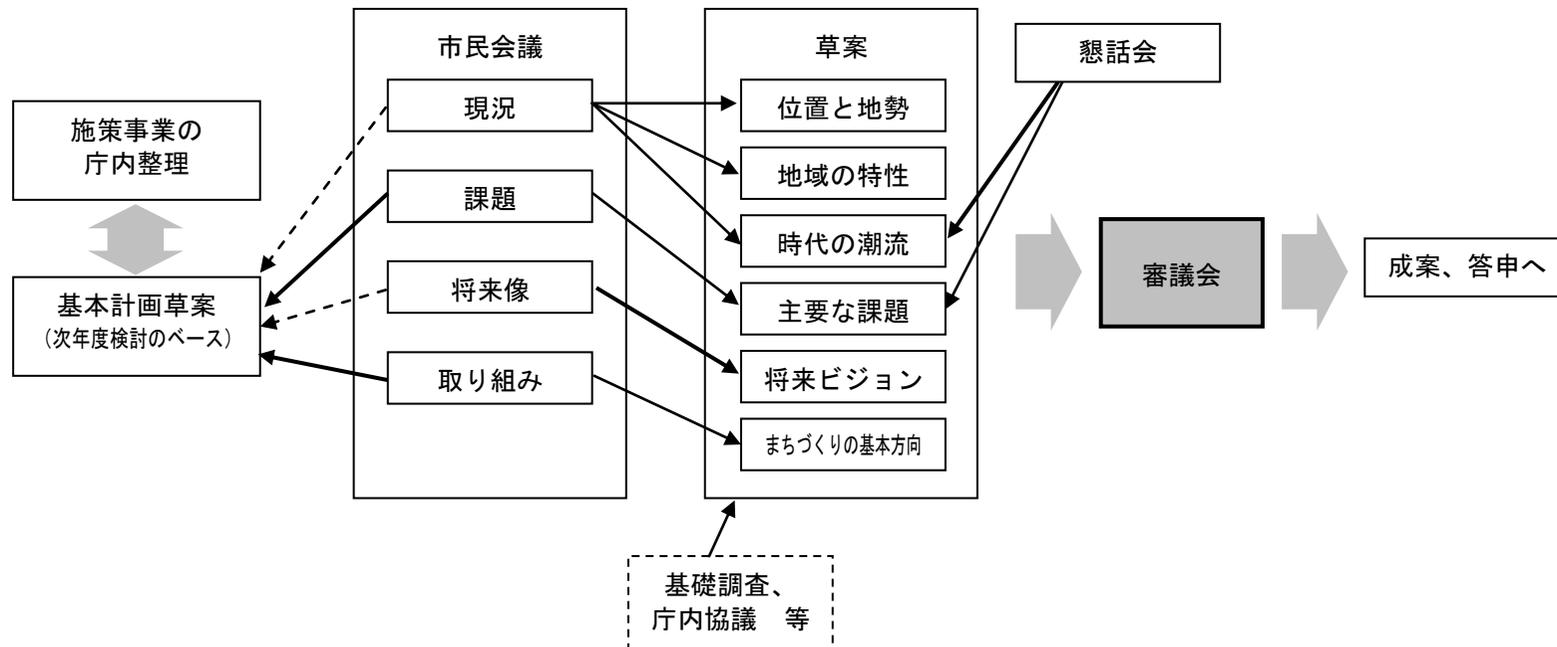


総合計画(現況課題・基本構想)草案における 市民会議意見の対応について

[対応表]



【現況】 …… 「位置と地勢」「地域の特性」における対応を基本としています。

第1部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
人権意識が高い		<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権や環境に対して意識が高い人が多い ○ 人権が守られている
都市化と自然環境が程よく調和している		<ul style="list-style-type: none"> ○ 農産地と市街地が近接している ○ 緑と市街地がうまく分かれている ○ 田園などと都市部の両方がほどよく存在している ○ 発展しすぎず、田舎すぎず住みやすい（2） ○ 市街地と農村部が共存している
自然・地形に恵まれている		<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境に恵まれている（4） ○ 市街地と農村部が共存している ○ 気候が良い ○ 琵琶湖が近い ○ 琵琶湖に接する長さが多い ○ 琵琶湖岸に位置し景観が良い ○ 緑、田園、湖に接し、広範囲な都市である ○ 旧草津川の桜はよい
公園の魅力・管理が良い		<ul style="list-style-type: none"> ○ 南草津団地の公園の管理では、毎週1回草むしりをしている ○ ロクハ公園にはカブトムシの家がある ○ ロクハ公園では、土の上を歩いたり緑をみたりしてほっとする。 ○ ロクハ公園は、遊具に頼らず、自然を活かした公園で心がやすらぐ ○ ロクハ公園は市民に愛されている ○ ロクハ公園は、意外と利用者が多い ○ ロクハ公園は、親子で遊べるのがよい ○ ロクハ公園プールの人気が高い ○ 博物館、水生植物公園以外にレジャーを楽しむ人が意外と多い
犯罪や安全性の確保への取り組みがある		<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの安心安全活動で、学生ボランティアと町内会が連携している ○ 電球の取り替えを町内会で取り組むところもある ○ 防犯活動で警察と協力して活動しているところがある ○ 防犯の学生ボランティアが南草津駅周辺のゴミ拾いをしている

第2部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
子どものための取り組みがある		○ 登下校の見守りの取り組みが進んでいる（3）
地域協働合校の成果がある		○ 地域協働合校が11年目に入り、特色が出ている
歴史的・文化的な魅力がある	歴史文化が豊かだ	○ 歴史文化の街 ○ 古い建物が結構ある。
	草津宿本陣が魅力的だ	○ 東海道と中山道の交差する宿場町 ○ 草津宿本陣が魅力的

第3部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
人口増加による活気		<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口増加（2） ○ 人口増加したため（県内他市より）活気がある（5） ○ 人口が多すぎる ○ 人が多すぎない ○ 人口が程よい状況にある ○ 若さや先行きの可能性をもった町である
JR南草津駅前の開発が進んでいる	地価が安い	○ 大阪や京都と比べると地価が安く、住宅を購入しやすい
	JR南草津駅周辺の活気と開発（大学の影響）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南草津駅周辺が開発されてきた ○ 店舗が駅前に集中して、目的が明確に達成できる便利なまちだと思う ○ 南草津駅前は活気がある。 ○ 南草津は若い町であり活気がある ○ 南部地区に活力を感じる ○ 大学があることで、開発が進んでいる（2） ○ 若者が多く街に活気がある ○ 立命館大学があり若者が多いので活気がある ○ 学生が多い（BKC人口は17,500人、市内129のマンションに8,000人の学生が住んでいる。しかし住民票を草津にもっているのはそのうち3割）（バス・自転車の輻輳も）

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
生活に必要なハードが充実している	交通の便が良い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草津は交通の要所だ（2） ○ 大阪、京都への通勤圏（3）（そのため人口増） ○ 京阪神への（アクセスに）立地がよい ○ 京都大阪に出かけやすい ○ 通勤しやすい ○ 交通の便が良い（5） ○ 交通がある程度便利だ ○ インフラ整備が進んでいる ○ JR、道路などのアクセスが良い、JR、高速道などの幹線がわりと便利 ○ 道路が整備されている ○ 車で移動しやすい ○ 滋賀県の中での位置が中心に近い ○ 京阪神への利便性がよい（新快速の登場で際立った。バブル期には終の住処として草津を選ぶ人も）
	買い物の便がいい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の便がいい ○ 暮らしに必要な日常的な買い物ができるいい街になっている。 ○ スーパー、店が多く、近いところで買える（物価も安い）（3）
	大型商業施設の進出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型商業施設の進出により生活が便利 ○ 大規模店舗の充実
	生活に便利で住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちとして適当なサイズを有している ○ 生活する環境（衣・食・住）が整っている ○ 生活に便利で住みやすい（3） ○ 清潔、ゴミが少ない
	生活インフラが整っている	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下水道設備が整っていて良い ○ 溝ぶたの段差が解消できている

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
産業が盛ん	第一次産業が盛ん	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業が盛ん ○ 山田の草津メロンは、守山より安くて、おいしいとも言われている。 ○ ホンモロコやアオバナに着目して振興策をやっている。いずれも減反対策としてやってきた。
	産業上の立地がよい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草津のいいところをあげて、それを生かすことが大切。例えば、交通の要衝であることなど ○ 大手メーカー工場が多い ○ 新名神は、草津にとってプラスになった ○ 湖南エリアは、まだ成長する可能性のある地域 ○ 交通の要衝であることが利点。この強みがどんな産業で生かせるか ○ 例えば、10 t 運んで、100万ではなく、億稼げるような、付加価値の高さが必要。先端産業などか。 ○ 交通の要衝を生かせるとよいが、一方で、環境面からは、トラック輸送は見直しの方向でもある。 ○ 企業進出には、労働力確保も指標になっている。その意味で、湖北や湖西より、湖南は有利。

第4部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）
市民活動が盛ん		<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民活動をやっているとおもしろい人との出会いがある ○ 市民活動が盛ん（2） ○ 地域活動が低迷している中で、テーマ型のボランティアが主流になってきた ○ 小学校・中学校に地域協働合校がある（大阪などにはない） ○ 70歳以上が引っ張ってきた南草津団地の活動 ○ 南草津団地は町内会全体が高齢化する中で、周辺町内会との交流（子育てサロン）の場がある
公共施設・民間施設での取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ○ 老上公民館では「地域協働合校」の取り組みが、幼稚園・小学校・中学校・公民館が近くにあるので連携しやすい ○ 老上公民館は「あいさつ通り」「わんぱくプラザ」など活発 ○ 老上公民館の学区内は様々な自治会があるので、同質に議論するのは難しい ○ 大学のグラウンドで少年野球チームの活動（大学施設の活用）
市民センター機能が充実している		<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民センター機能が充実している ○ 市民センターの役割が大きい ○ 老上公民館は、現在は市民センターとして届出發行
まちづくりセンターの運営協議会方式がよい		<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営協議会で市民と行政・財団が対等に話し合う ○ まちづくりセンター 利用者・所有者・管理者との協働による運営協議会
行政・議会の位置づけ	市議会の位置づけを明確にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市議会は議会としての機能を果たしているのか？ ○ 市の職員の数は減っているが、なぜ市議会議員の数は減らせないのか？
行財政状況の安定		<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕張のように破綻していない

【課題】……主に基本計画での対応を検討しますが、このうち「時代の潮流」「主要な課題」における対応について整理しています。

※ 基本構想等草案への対応を以下で示しているものについても、今後、基本計画での対応を検討していくものです（特記していません）

第1部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
人権意識の啓発が必要だ			・ 基本計画のなかで踏まえていく。
文化の違いと理解の難しさがある		<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国からの転入者にゴミの分別の説明ができない ○ アジアから来た人はとけこんでいて気づきにくい ○ 転入者だと気づかないことで理解できないこともあるかも知れない ○ 夜に騒ぐなど、国によって文化の違いがある 	・ 「時代の潮流⑥」などに含めて記載している。
豊かな自然環境が減りつつある	自然が減っている	<ul style="list-style-type: none"> ○ 割と自然が残っているが、ドンドン減っている ○ 緑が少ない（2） ○ 田園地域は10年後に住みやすいかを検討する必要がある 	・ 「時代の潮流④」「主要な課題④」などに含めて記載している。
	自然と調和した開発が必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市化と自然環境が程よく調和しているので、これ以上開発しないでほしい 	
環境問題に取り組む必要がある	ゴミ問題に対する意識が低い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在は処分できない分は大阪湾に埋め立てしているが、市民は知らない ○ 分別するとプラスチックのゴミが多いが、再生は難しい ○ ゴミの投棄が多くなっており、モラルが低下している ○ 自然も放置されているとゴミのたまり場になるので管理が必要だ ○ 粗大ゴミが多くなってきた。テレビや自転車など。デポジット制は検討できないのか ○ 草津川の草を堆肥にしてリサイクルしたいが、廃棄物として処分しなければいけないのかわかりづらい 	・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	河川浄化に対する意識が低い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河川から琵琶湖への水のサイクルを考える人が少ない ○ 農繁期になると河川に油が浮く 	・ 基本計画のなかで踏まえていく。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
環境問題に取り 組む必要がある （続き）	ゴミやリサイクルの 取り組みは、行政は 充実しているが市民は 知らない	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゴミ拾いのボランティアで、行政からは大型ゴミなどは拾わないでほしいと伝えられたが、実際には行政は場所を教えてほしいと考えており、相互に正確な情報が伝わらない ○ 河川の泥はセメントなどにしてリサイクルしているが市民は知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	生活スタイルや 考え方が違う	<ul style="list-style-type: none"> ○ リサイクルのシステムが充実すれば税金も有用に使えるのに ○ リサイクルに対する考え方も市民によって違う ○ 生活スタイルに対する考え方が新住民、旧住民で異なる ○ 新住民には、煙や蛙の鳴き声も公害になりうる ○ 新住民は前に住んでいたところ（都会）と同じ行政サービスを期待するが対応できない ○ 行政としては、旧来の生活スタイルについて指導するのは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
魅力のある公園 の整備が必要だ	公園の整備が不 足している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中心地に公園、芝生の広場がない、少ない（2） ○ 人が集うような、コミュニティの中心となるような場所に公園がない ○ 公園の管理が悪い ○ 公園が放置されている ○ 公園の遊具が多すぎる ○ ロクハ公園はイベントが少ない ○ ロクハ公園は公園へのアクセスがすくない ○ ロクハ公園はアクセスが不便である ○ ロクハ公園は子どもだけでは遊べない ○ ロクハ公園は交通の便が悪く利用者が少ない ○ 安全な子供の遊び場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題④」などに含めて記載している。
	住民主体の公園 の管理が必要だ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
災害が少ないが対策が必要だ		<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害は少ないが対策は必要だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「時代の潮流⑦」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
草津川跡地の有効活用を検討する必要がある	草津川跡地の活用が十分でない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草津川跡地が充分活用できていない ○ 旧草津川の取り扱いが不明だが、災害時に使える施設にならないか ○ 人通りが少ない ○ 荒れた印象がある ○ 空き地を利用できていない ○ 街灯が少ない ○ 利用が決まっていなくて管理が大変だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	草津川跡地を多目的に活用したい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
犯罪や安全性が不安だ		<ul style="list-style-type: none"> ○ 物騒なことが多い ○ 犯罪が多い ○ 重大犯罪が少ない ○ 軽微な犯罪は多い ○ 自転車の盗難などの犯罪が増えつつある ○ 治安が不安 ○ 子供だけで安心して遊べる場所がない ○ 大型商業施設に子どもが遊びにいった場合、周囲の大人の目が行き届かないためのトラブルが心配 ○ 大学生の路上駐車への対応で住民の理解が難しいところもある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑦」などに含めて記載している。

第2部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
子どもが育つ環境づくりが必要だ	子どもが育つ環境が整っていない	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちに子どもがいない。 ○ 昔の駄菓子屋のような、子供の友達づくりができる場が少ない ○ 児童館、児童センターがない（無料で自由に遊びに行ける場所） (2) ○ 私立幼稚園が草津駅周辺に集まっているため、その他の地域の人 が通にくい ○ 幼稚園の入園に制限がある ○ 公立の幼稚園は3年保育をしていないため、私立に人気が集まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題③」などに含めて記載している。
	母親を支援する場が必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て中の人が集まる場所が少ない（3） ○ 特に0歳児のお母さんは孤独に陥りやすく、支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題③⑦」などに含めて記載している。
生涯学習の制度や運用を充実する必要がある	生涯学習の内容や運営に課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育関連団体が多様化しているが、世代交代ができておらず、 同じ人が担うケースが多い ○ 社会福祉団体も多様化し横のつながりがない ○ 生涯学習関連の情報が分散し、検索しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題②」などに含めて記載している。
文化的な魅力が不足している	都市景観の目指す方向が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の景観が、あまり良くない ○ 都市景観の目指す方向が見えにくい ○ 四季を感じるものがない。 ○ 花がない。 ○ 烏丸半島の空き地利用は？（3） ○ 風車はシンボルになっているか？ ○ 烏丸半島の施設計画は集客が難しいのでは？ ○ 烏丸半島の施設計画は使用用途・目的を明確にしないと不安、も ったいない ○ 烏丸半島の施設計画は中途半端にならない利用計画をたててほし い ○ 三ツ池はサッカー場の芝が天然の場合、年に50回程度しか使えな い ○ 三ツ池は施設の内容が盛り込みすぎではないか ○ 三ツ池は企業売却部分の内容が共存できるものか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題④」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
文化的な魅力が不足している（続き）	文化芸術の発信・交流拠点が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映画館がない ○ 大きな市民ホールがない ○ 文化芸術の発信・交流拠点が少ない ○ 市の文化施設がない（ホール） ○ 「歴史・文化行政が近隣市町より弱い」と言われる ○ 文化施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題①」などに含めて記載している。
	オリジナルな魅力が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩いて魅力のある街にする必要がある ○ 商店街、文化ゾーンも含めて、何の興味もない街になっている。 ○ 人を呼び込む魅力がない ○ 買い物に京都、大阪に行ってしまう ○ 郷土料理がない？ ○ 全国的に有名なお土産がない ○ 町のターゲットがどんな人なのか見えない ○ 草津といえば・・・というシンボル、核、ブランドがない（5） ○ 地味なイメージ（大阪から見ると大津以北はよくわからない） ○ 誇れるものがない ○ 群馬の草津と間違われる（2） ○ 花火大会がない ○ おいしいそば屋がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	観光資源が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光資源が少ない、活かしていない（2） ○ 歴史文化の観光に力が入っているとは思えない。 ○ 修学旅行生が琵琶湖博物館などに来たとしても、宿泊施設がない ○ 観光客にとって草津は狭間の時間（メインは京都など） ○ 草津宿本陣の近隣に観光客が立ち寄るようなところ（観光名所、土産物屋など）がない ○ 烏丸半島、草津宿本陣など観光地が点在している。どうしても車での移動観光になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
文化的な魅力が不足している（続き）	観光資源が少ない（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客の動線が悪い。もう少し歩いてみたいと思えない。 ○ 良い所が点々とあるのに本陣くらいまでで止まってしまう。 ○ 本陣周辺は地区計画ができていなかった街。特にでこぼこの軒先。 ○ 草津宿街道交流館の利用者が日曜日なのに少ない。むしろ皆無。 ○ 本陣周辺に歩くと一息つける場所がほしい。ベンチなど。 ○ 本陣周辺は店舗の跡地が小さな駐車場となっている。月極めが多く観光客は使えない。 ○ 本陣周辺には公共スペースがない。 ○ 本陣の標識が「東海道」ではわかりにくい。 ○ 旧東海道の目印がわかりにくい。 	
健康・福祉、教育文化、スポーツ施設が不足している	大規模スポーツ施設が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模なスポーツ施設（1万席以上）がない（Jリーグを目指す草津のチームがあるが、大会は他市での開催が多い。草津市に施設が誘致できれば、経済効果は大きい） ○ ゴルフ場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	高齢者の活躍の場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの施設でも年配の人の姿を見かけない。出かけられる場所が必要 ○ 高齢者のパワーを発揮する場所がない ○ 退職した人（特に男性）が活動し始めづらい ○ 今の高齢者は受身な感じ。プログラムを用意してもらえるところに出かけることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題③」などに含めて記載している。
	医療体制の充実が必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームドクターの休日診療制度を充実してほしい（小児科に集中している） ○ 休日診療救急センターは専門の医師が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題③」などに含めて記載している。
	公共の病院がない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公立の医療機関がない（他市にはあるのに、市民にとってどうか） ⇔（逆に、民間で成り立つのならばない方がよいのでは？） ○ 公共の病院がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題③」などに含めて記載している。

第3部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
<p>駅前の開発が急にすすんできている</p>	<p>中心部にマンションが多い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前にマンションがはりつき過ぎ ○ 中心部は商業地なのにマンションが多すぎる ○ 住宅供給過剰（学生マンション・企業マンション、バブルの様相を呈している）（2） ○ 駅前がマンションだけというのは、将来問題になる。 ○ マンション乱立地域に緑が少ない。緑が少ないマンションは、将来的に価値が下がる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題④」などに含めて記載している。
	<p>開発が中途半端</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発には、先をみた土地利用のコントロールが必要 ○ （開発が）何事も中途半端 ○ 旧草津川が都市を分断している ○ 東西が旧草津川、南北がJRで分断されている ○ 南と北の状況が異なることに注目することも必要だが、最終的にはそれらをつないでいくことを考えることになるだろう ○ 急激な人口の増加による旧野路町の分断（2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題④」などに含めて記載している。
<p>交通環境が整備不足である</p>	<p>公共交通整備の不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 車等がないと生活が不便だ ○ 車以外での交通手段がない ○ 市街地以外では車なしでは生活できない ○ 交通（公共の）が不便だ ○ 南草津駅に新快速が止まらない ○ 路線バスの運賃が高い ○ バスが少ない（立命館大学よりも先へ行くとバスがとても少ない） ○ 商店街を循環するような無料バスがない ○ バスが高い、少ない（観光スポットをめぐる場合に、たとえば草津宿から琵琶湖博物館へバスで行こうとしたら、アクセスが悪く本数も少なく料金が高い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑤」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
交通環境が整備不足である（続き）	道路整備の不足	<ul style="list-style-type: none"> ○ 渋滞が多い ○ 主要幹線・道路が集中している ○ 道路が混んでいる（国道1号） ○ 中心市街地への道路アクセスが悪い。また、駐車場が少ない。 ○ 道路の渋滞・年々悪化している（特に南北の道路が詰まる） ○ 道路インフラが追いついていない（抜本的解決には車そのものを減らす必要がある） ○ 道路が狭い（4） ○ 道路が複雑 ○ 道路が混む ○ 国道1号のアクセスが混む。 ○ 草津川により交通の便が悪くなっている ○ 三つ池周辺の道路は混雑している ○ 生活道路の整備が十分でない ○ 歩道が狭い（そのため自転車と歩行者が一緒）（2） ○ 歩道、車道の段差が危ない ○ 歩道の真ん中の電柱は再検討する必要がある（トンネルの出口など） ○ 交差点の信号間隔が短いので、渋滞する。人も渡りにくい。 ○ サインが分かりにくい。 ○ 自転車置き場がバラバラで使いづらい ○ 通過交通しかない ○ 住宅街の通り抜けが多い ○ 草津駅前（道がごちゃごちゃしている・かつては開かずの踏み切り） ○ 駐車場がない ○ 駐車場が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	交通マナーが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通マナーが悪い ○ 道路にゴミをよく捨てられる ○ 駅周辺等路上駐車が多い ○ 烏丸の民活予定地付近の路上駐車が多い(2) ○ 駅前ロータリー駐車の車が多い ○ 学生の交通マナーが悪い（学生だけでひとつのまちの規模を持っているのだから、いい人も悪い人もいて当然といえば当然である） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
生活に必要な施設が不足している	ゴミ処理場が不十分	○ ゴミ処理場が不十分	・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	集会所施設が未整備である	○ 南草津団地集会所の入り口にスロープがないため高齢者が利用しにくい	・ 基本計画のなかで踏まえていく。
産業の振興を図る必要がある	第一次産業の振興が必要だ	○ 草津のよい環境を生かしきれていない ○ 農業自身が利益を出す構造が必要だ ○ 米は農家の規模がまちまちなので、どこが取組むのかが難しい	・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	計画的な土地利用による産業育成が必要だ	○ 草津は製造業用の新たな土地は少ない ○ 現在の企業は弱電が多い。不況だと同じように業績が下がる危険がある。業種が偏っていることは弱み	・ 「主要な課題④⑥」などに含めて記載している。
職場と住まいが両立するまちづくりが必要だ			・ 「主要な課題④」などに含めて記載している。
衰退した商店街を活性化したい	商店街が衰退している	○ 商店街が細分化され過ぎ ○ 旧市内に活力がない ○ 商店街が寂しい (3) ○ 商店街の後継者がいない ○ 商店街はシャッター通り。ポテンシャルはある。行政の力だけでは何ともならない。地域通貨も肝心の商店が盛り上がらなかった ○ シャッターが閉まっていて寂しい(2) ○ シャッター通りになりつつある。 ○ 日曜でも店をあけてほしい ○ 閉まっている店が多く寂しい ○ 平日より日曜が休みの店が多い ○ 人や自転車の通過道路になっている。 ○ 6丁目から4丁目のお店の客が4軒で4名であった。 ○ 興味をそそられるようなお店が連続していない ○ 商店街が日曜日なのに人が歩いていない。 ○ 商店の努力も足りない。 ○ 住宅や病院が店舗の間に入り乱れているために、歩いて楽しめない。 ○ 昼間しまっている居酒屋が増えているため昼間がさみしい。 ○ まちなみがそろっている所とそうでない所がありバランスが悪い。 ○ 間口の狭い店が多い。 ○ 駅前商店街では、魚屋も10件ほどあったのが1件になってしまった。	・ 「主要な課題⑤」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
衰退した商店街を活性化したい（続き）	郊外大型店との競争が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平和堂は、1号店ゆえ、残っているらしい。現在は駐車場が義務付けられているので、建て替えは難しいが。 ○ 大型商業施設による商店街の衰退（2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑤」などに含めて記載している。
	商店街活性化の戦略をたてる必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今の商店街は、普段の買い物の機能を維持するのにも、何か手をうたないといけない状況だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑤」などに含めて記載している。

第4部会

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
市民活動が重要だ	地域コミュニティが弱まってきた	<ul style="list-style-type: none"> ○ 転入者が多いことが、人口増加、コミュニティづくりの課題となっている ○ 旧住民には古い価値観にとらわれている人もいる ○ 地域は青年団・婦人会があった頃と違う（課題解決の目的が必要）。 ○ 新旧住民が交流しない、交流が少ない、ギクシャクしている（4） ○ 新旧住民の世代間の問題への対処が必要である。 ○ 新住民どうしの交流が少ない（2） ○ 人の入れ替わりが激しい（協働の難しさ） ○ 市民がまとまりにくい ○ 住宅団地では同世代の方々が集うので、世代を超えた広がりを持つことが難しい ○ 団地でも、共生できる環境づくりが必要だ（例）多世代混住の推進 ○ 団地では人が減りつつある ○ 住宅団地単位では課題が共有できるが多用なニーズには応えられない。他地域との連携が必要 ○ 学生や一人暮らしの人で自治会に入らない人がいる ○ 運動会など行事に出てきてくれない ○ 向こう三軒両隣（近隣コミュニティ）がなかなか進まない ○ 住民の入れ代わりが多く、つながりを求めている人も多い。 ○ サポートコミュニティ等、必要なものであれば自然に組織や団体が出来上がっていくのではないか。そもそも町村コミュニティってそういうものだと思う。すたれていっているor活発でないということは、「必要とされていない」ということではないのか？必要とされていないのであれば、より必要とされるものに形を変える、または廃止する等していく方がシンプルでよい ○ コミュニティが崩壊しているのは必要とされていないのか、地域内教育もなくなるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑦⑧」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
市民活動が重要だ（続き）	市民活動への関心や参加をよびかける必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他市に比べ福祉やボランティア活動が遅れている ○ 無関心層の対応が必要だ ○ 勤労世代の参加方法を検討する必要がある ○ 「私やらんでも誰かがやってくれるんやろ」と言いつつ、その結果に文句を言う人が多い。 ○ でも、その人たちを教育していくのは大変。人は自分自身が本当に必要だと思わないと動かない。イヤイヤだとまた文句が出る ○ ボランティア活動の大切さへの気づきのための取り組みが必要だ ○ 社会参加に対する意識づけ（子どもの頃からの） ○ 地域教育は誰がするのか（学校ではない） ○ 本グループ・草津市民の中でも協働のイメージは違う。 ○ 草津市には多様な価値観の人がいるので、多様な協働の形がありうる。 ○ 草津市の協働は「パッチワーク」のような多様なイメージ○である。 ○ 草津で多様な人が集まるためには、ゆるやかな事業の形態が必要である。 ○ 市民活動は、市民活動の「需要」に見合う「供給」のバランスがかみ合うことで、全体に広がる。 	
市民活動の場づくりが重要だ	公共施設が使いづらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市の施設の設備が使いにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	市民センターの魅力づくりが課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民センターの魅力づくりが課題 ○ 市民センターが地域に溶け込んでいない ○ 市民センターのスタッフが排他的である ○ 市民センターは市民団体間の調整をしてほしい ○ 市民センター化により利便性は向上、使い勝手は要進化、運営（会館）スタイルは要改善 ○ 市民のための施設であるならばもっと開かれた運営を考える必要がある ○ イメージが暗い ○ 地域の拠点活動なので参加しない人をいかに参加してもらえるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
市民活動の場づくりが重要だ（続き）	市民センターの魅力づくりが課題（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 館長によって運営が違う ○ 市民センターが生涯学習プログラムの提供や情報発信の機能をなかなか担いきれていないので、もっと特色がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	市民センター、公民館の役割を見直す必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民センター（公民館）の日曜開設は必要か？（1日1件ということもある） ○ 市民センター（公民館）の数は13も必要か？中学校区ごと程度でもよいのではないか。 ○ 市民が求める行政サービスと提供される市民サービスは合致しているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
	まちづくりセンター、ボランティアセンターの運営に課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりセンターには利用の仕方が異なる各団体の調整の難しさがある ○ まちづくりセンターが特定の団体しか利用されていないのでは（利用しづらい） ○ 市ボランティアセンターは形だけのような気がする。一般市民が利用しにくい。（特定の人だけが利用しており、市民には遠い存在） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。
多様な人々が市民活動に参画すべきだ	地域での取り組みが必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小地域での協働は見えるが、ここまで大きくなると見えにくい ○ 地域ごとの協働のあり方が必要だ ○ 草津の中にも自然環境豊かな地域、田畑が広がる地域、市内の市街地など多様な地域がある。それらが互いに連携することが、魅力づくりにもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑦⑧」などに含めて記載している。
	学生や大学が参画すべきだ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑧」などに含めて記載している。
	企業も参画できる協働のしくみづくりが必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松下も立命も、地域清掃にはなるべく地域と一緒にするようにしている。行政や地域が企業・大学と計画・日付等を早い段階から合わせていけると協力しやすい。 ○ 大学生と違い、企業人はその地域に居つくが、世代が続かない（ニュータウン化）という課題が共通している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑧」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
多様な人々が市民活動に参画すべきだ（続き）	学生にとって魅力のある地域づくりが必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生が地域に残らない（Iターンはない） ○ 立命館大学学生のうち、8000人は草津に住んでいるが、卒業したら離れていくという現状がある。 ○ 地域内雇用が少ない（空洞化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑧」などに含めて記載している。
行政・議会の位置づけを明確にするべきだ	行政サービスを再検討するべきだ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 求められる市民サービスの多様化に行政はどこまで対応できるのか？ ○ 公と私の区別をどこに置くのか？（市民サービスの範囲） ○ 市全体のトータルビジョンの視点で議論できる政策立案機能（あるべき姿）が必要だ ○ 多文化共生施策がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑨」などに含めて記載している。
	行政の顔が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市役所の部署の名称が変わりすぎ（覚えた頃が変わる） ○ 行政の顔が見えにくい ○ 草津の中心でイベントが多い（琵琶湖側や、山側での開催が少ない） ○ 市の中心市街地の改善・改革の手の打ち方が小さい。 ○ 行政の縦割りの弊害がある、融通が利かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑨」などに含めて記載している。
市民と行政の協働を進める必要がある	市民と行政との対話の場を作る必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の活動を行政が支援してほしい ○ 行政は、他地域の市民活動支援の情報を集めて中間支援施設のあり方を検討する必要がある。 ○ 行政は、地域でどんな活動をしているか、情報の仲介、ヒントや情報の提供。協働を支える役割を担えるように。 ○ 行政は、講座実施の際はPRをしっかりと行うべきである。 ○ 行政は、ボランティアセンター事業実施に際しては、市民と協力して一般の人にも目につく工夫をすべきである（裾野の広がりを意識して） ○ 異動のある行政職員とのパートナーシップの難しさ ○ ひざをつきあわせるような行政との対話が少ない（各トーク（市長 e t c）はシナリオができています） ○ 行政や市民活動の担い手にもカリスマ（プロジェクト的な）が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「主要な課題⑧⑨」などに含めて記載している。

大項目	小項目	付箋内容（括弧内は重複意見数）	基本構想等草案との対応
市民と行政の協働を進める必要がある（続き）	市民と行政との対話の場を作る必要がある（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協働のカリスマが抜けたときのことを考え、行政・市民活動団体は協働ノウハウの平準化を図るべきである（限界はあるが）。 ○ 市民のニーズをいかに効率的に市へ届けるか（本当に求めているもの） ○ 他の行政団体との連帯が良好とは言えない（市役所社協コミセン市民企業） 	
	広報体制の拡充が必要だ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報くさつを使った行政告知（市民は意外に読んでいる） ○ 市政情報の入手方法 広報くさつの活用率がとくに高いが十分に生かされているとはいえない ○ ポータルサイト「932情報ネット」が機能していない。 ○ 市民活動を供給したい団体は多いが、市民団体側もニーズのある人を「助けに行くよ」という表明が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のなかで踏まえていく。

【取り組み】 ……基本計画において対応を検討していきます。

※ 具体事業に係る内容は、すべて、今後の基本計画において対応を検討していきます。

【将来像】 …… 「将来に描くまちの姿」での対応について整理しています。

目指す将来像	選択されたカード	WSでの意見	基本構想等草案との対応
さまざまな環境（自然、働く場、暮らし、マイノリティ）の共生	豊かな自然環境が減りつつある	○ 地球温暖化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 「……恵まれた環境が守り生かされ……」という表現のなかで、様々な環境との共生の趣旨を含めている。 ● 「……誰もが、互いを尊重し認めあい、……」という表現のなかで、人権尊重と多文化共生の趣旨を含めている。
	環境問題に取り組む必要がある		
	産業の振興をはかる必要がある		
	駅前の開発が急に進んできている		
	衰退した商店街を活性化したい	○ 地域通貨などを検討できないか	
	魅力のある公園の整備が必要だ		
	生活に必要なハードが不足している		
市民と行政による共生の仕組みづくり	市民と行政との協働を進める必要がある	○ 行政は財政面から市民はニーズから協働を考えるので食い違いがある	<ul style="list-style-type: none"> ● 「……市民・企業・行政等の「協働」を基軸とした市民自治の仕組みが……」という表現のなかで、市民と行政の共生の仕組みづくりの趣旨を含めている。
	市民活動は重要だ	○ 行政は市民活動に関する情報を提供してほしい	
	多様な人々が市民活動に参画するべきだ	○ ボランティアに頼りすぎた活動には限界があり、行政の支援が必要だ	
変化に対応できる市民目線のハード整備	生活に必要なハードが不足している	○ 目的、方向性、将来像から施設整備運営を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続的に発展させていくため、「選択と集中」「連携」……地域経営が安定的に行われています……という表現のなかで、趣旨を含めている。
	生活に必要なハードが充実している	○ ランニングコストを大事に！10年先を考えて！！	
	生涯学習の制度や運用を充実する必要がある	○ ハコモノ凍結	
	地域施設の有効活用が必要だ		
	健康福祉教育文化スポーツ施設が不足している		
	魅力のある公園の整備が必要だ		

目指す将来像	選択されたカード	WSでの意見	基本構想等草案との対応
時代の風の循環に対応できるまち	産業の振興を図る必要がある	<input type="radio"/> 草津の特性を活かす(例:学生ベンチャー)	● 「“その輝きは～創りだしています。”という表現のなかで、趣旨を含めている。
	交通環境が整備不足である	<input type="radio"/> 新陳代謝をせざるを得ない「風のまち」	
	駅前が開発が急に進んできている	<input type="radio"/> ターニングポイントをつかめ	
	人口増加による活気	<input type="radio"/> 「根無し草」だからこそ生き残れる	
	まちの分断	<input type="radio"/> 今後は農の時代が来るかも	
	衰退した商店街を活性化したい	<input type="radio"/> 草津は風のまち新陳代謝のまち。時代の変化に対応できるまち。	
		<input type="radio"/> 時代の風を呼ぶまち。(課題の裾野も広がるけれど)	
		<input type="radio"/> ハードからソフトへ(10年先の草津はどんなまち?)	
協働による生活視点オーダーメイドのまちづくり	文化の違いと理解の難しさがある	<input type="radio"/> 「生活の質」重視のまちづくり(関西圏における草津の役割)	● 「将来に描くまちの姿」全体に、市民生活の質や協働を重視した趣旨を含んでいる。
	多様な人々が市民活動に参加すべきだ	<input type="radio"/> 市民の「生活」と向き合う(観光でも産業でもない)	
	市民活動は重要だ	<input type="radio"/> 市民活動に対する意識の二面性融合の必要性	
	市民と行政の協働を進める必要がある	<input type="radio"/> 流動性の高い草津来る人を受け入れられるまちか?何を残すのか?が問われる	
		<input type="radio"/> 骨を埋めるつもりで住み続けたい(働ける地域) ! <input type="radio"/> 帰ってこられるまちづくり(反対の事例:千里ニュータウン(いわゆる衛星都市)) <input type="radio"/> 世代間同居を増やそう!	
自家用車に頼らないライフスタイル	まちの分断	<input type="radio"/> 高齢者の移動手段	● 基本計画のなかで踏まえていく。
	交通環境が整備不足である	<input type="radio"/> 新交通システム	
		<input type="radio"/> 補助幹線の整備	
		<input type="radio"/> 東西方向の道路整備	

目指す将来像	選択されたカード	WSでの意見	基本構想等草案との対応
草津で働くライフスタイル・通勤するライフスタイル	職場と住まいが両立するまちづくり		● 基本計画のなかで踏まえていく。
	産業の振興を図る必要がある		
	子どもが育つ環境づくりが必要だ	○ 年齢構成をバランスよく	
10年後、高齢者の暮らしやすいまち	衰退した商店街を活性化したい	○ 商店街での車の扱い方を検討しよう	● 基本計画のなかで踏まえていく。
		○ 道路にも適正な幅が必要だ	
		○ 魅力のある商品づくり	
		○ 海外の超大手スーパーを誘致してみる	

平成21年2月12日(木)
第5回草津市総合計画審議会(資料5)

「座・でいすかす」

～草津のまちづくりについてのディスカッション～

【報告書】一部抜粋



平成21年2月

草 津 市

目 次

1 「座・でいすかす」とは	1
(1) 目的	1
(2) 総合計画との関連性	1
(3) 開催日程	2
(4) 参加者抽出	2
(5) 検討テーマ	2
2 「座・でいすかす」の実施手法	3
(1) 事務局の事前準備	3
(2) 無作為抽出と抽選	4
(3) プログラム	5
(4) 意見交換の場の持ち方	8
(5) 情報提供	10
(6) 投票	12
(7) 昼食	14
(8) 謝礼	14
(9) 事務局体制	14
(10) その他（傍聴、休憩時間など）	15
3 市民提案	16
(1) バリアフリーの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案	16
(2) コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案	17
(3) 子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案	18
(4) 提案内容について	19
4 今後の市民参加の取組みに向けて	20
(1) 「座・でいすかす」の効果	20
(2) 反省点	20
(3) 今後に向けて	21
5 参加者アンケートのまとめ	22
6 参考資料	29
・ 検討テーマ設定市民意識調査結果概要	29
・ 参加依頼者配布用チラシ	32
・ 参加書	34
・ 新聞記事	35
・ 意見交換・提案の結果	37
・ 事前配布プログラム	64
・ ハンドブック	69
・ 当日プログラム	75

3 市民提案

(1)「バリアフリーの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案」

■ Aグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
みーんなのバリアをフリーへ (「誰にもやさしいバリアフリー」「いろいろな障害者、専門職の意見をもっともっと聞いて」)	○	○	○		2	3	5
チビッコ・シルバー集いの場 (「芝生化して!」「世代をこえたコミュニティ」「旧草津川の有効利用を!」)	○			維持管理 NPO	1	9	10
草津子育てゆいかごネット (「もっと情報を!」)	○	○	○		1	3	4
安心・安全大型スーパー (「バリアフリーの徹底化を!」)		○	○		0	1	1
語ろう!学ぼう!知ろう!感じよう!見よう! (「五感へ!福祉教育を!」)	○		○	教育委員 会	0	2	2
【残したい意見】 公共施設をまわる循環バス (「地方へも行ってー!」) 桜まつり・宿場まつりを楽しもうよ (「草津川を芝生化したあと・・・」) 子どもまつり・ユニバーサルデザインまつりをしよー (「みんな外に出れる機会を」)							

■ Bグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
歩きやすい道路 (「車道、歩道の区別」)	○			国・県	2	8	10
情報の受発信の高度化 (「インターネットや広報誌の活用」)	○		○	NPO	0	5	5
シニアの知識経験活かし方 (「世代間のへだたりをなくす」)			○		1	7	8
商店街の復活 (「近くで買い物できて、調理方法等教えてもらう」)	○	○	○		1	3	4
草津市からの意識改革 (「制度があるのに活用方法を活かして」)	○	○	○		1	4	5
【残したい意見】 東レ・パナソニック・市役所から・・・育児休暇 etc 標識を充実すること どうしたら情報がとれるだろう?							

■ Cグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
広報くさつの有効利用 (「市民参加による紙面づくり」)	○	○	○		5	3	8
公共乗り物の全席優先席化 (「JR、バス etc」)	○	○	○		1	4	5
子どもの市民としての意識づけ (「家庭でも、学校でも」)	○		○	学校	0	2	2
向こう三軒両どない運動展開 (「家庭でも、学校でも」)	○		○		0	7	7
公民館、市民センターなど既存施設の有効利用 (「家庭でも、学校でも」)	○		○		0	3	3
【残したい意見】 民生委員のあり方を考え直す (「増員など」) 高齢者が楽しんで参加できる計画							

(2)「コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案」

■ Aグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
町内役員さん立場向上! (「対話!」「専任制あり?!」)	○		○	学校	0	2	2
身近で魅力ある行事! (「誰でも参加」「祭り」「健康」「講演会」)	○	○	○		1	3	4
耕作放棄地をつかって 世代を超えて菜園を (「老人と子供もお父さん、お母さんも協働」)	○		○	NPO	2	7	9
活性化⇒自治会館 (「ミニ学童保育」「近所同士お互いに」)	○		○	子ども自身も	0	2	2
コミュニティの「見える化!」 (「活動予定→報告」「ご近所さん情報も」「中学校区くらい」)	○		○	自分から	0	2	2
【残したい意見】 町内会はまだまりが大事→誰でも参加できる活動を 障害者・障害児も参加できる行事 自然にコミュニティの動きが生まれる小さな公園・広場をたくさん!							

■ Bグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
ふれあい相談の場づくり (「子供、老人、障害者のふれあいの場」「公民館、学校」etc)	○			国・県	0	5	5
人材発掘と育成 (「ボランティアの活用」「昔遊び」「高齢者や大学生等の知恵を」)	○		○	NPO	1	10	11
定期的な行事の開催 (「びわ湖清掃」「ギネス挑戦」等)	○	○	○		4	4	8
防犯対策 (「子供110番の活用方法」)	○		○		0	2	2
身近な所からの健康づくり (「ウォーキング体操など」「行政フォロー」)	○		○		1	5	6
【残したい意見】 意識改革(「美化」)							

■ Cグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
「広報くさつ」活用 (「クーポン券(印刷)はさみ込む」「町内会、学校、市民のページ」「地域の行事予定の掲載」)	○	○	○	学校	5	3	8
町内会のあり方 (「町内会を楽しく活発にして行く市民と市の協力」)	○		○		0	3	3
市営バス運行 (「公共施設へ向かうバス」)(「乳幼児連れの親子と老人の方は低費用で」)	○		○		2	6	8
情報ひみつ基地 (「町内活動、意見、情報の交換」)	○		○	子ども自身	1	3	4
自治意識の高揚 (「選挙に行こう」「先ずはあいさつから」)				自分から	0	5	5
【残したい意見】 全員参加の清掃活動(「地域の児童公園等 年2~3回」)							

(3)「子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案」

■ Aグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
アイサツ運動から井戸端会議まで地域の声かけ・語らいつく!	○		○		2	6	8
フッリッジさん(南草津の学生防犯サークル)に学んで、市全体に地域防犯の取組を拡げよう!			○	学生サークル	1	3	4
既存の組織から機動力のある助け合い隊へ!			○		0	1	1
子ども 110 番のいえから「地域の 110 番のいえへ」			○		0	3	3
登下校の見守り隊 毎日朝夕	○				0	4	4
【残したい意見】 防災取組をきっかけとして、気心を知り合うことが大切!有効! (「結束できる」)							

■ Bグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
ITチップやロボットの活用 (「見張り、いやし、情報伝達、家事、手伝い」)	○	○		国・県	3	3	6
ホットラインの充実 (「SOS、#932」)	○			NPO	2	6	8
充実した見守りを実現するための人材育成 (「登下校、本の読み聞かせ等」)	○		○		3	4	7
近所つきあい (「お隣大丈夫?SOS」)	○		○		2	5	7
見守る人がいる安全な遊び場所 (「お隣大丈夫?SOS」)	○		○		1	7	8

■ Cグループ

提案項目	取組主体				投票数		
	市	事業者	市民	他	金	青	計
高齢者と子供の交流 (「ラジオ体操」「夏祭」「草刈り」)	○		○		0	4	4
登下校時の立ち当番 (「交通指導」「防犯」)			○		1	5	6
声をかけよう! (「見知らぬ子どもにも、いつでも、どこでも、誰にでも」)			○		0	6	6
学校へ行こう! (「高齢者→保育園、幼稚園、小学校、中学校へ」)	○		○		1	1	2
遊び場の確保! (「老若男女とわず」)	○		○		0	4	4
【残したい意見】 何気ない親切 小さな親切運動! (「結束できる」)							

(4) 提案内容について

①バリアフリーの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

- ・投票数が多いのは、「チビッコ・シルバー集いの場」「歩きやすい道路」の10票となっており、空間整備への提案ということになる。
- ・情報発信や情報の活用については各グループからそれぞれ提案が出されており、特に「広報くさつの有効利用」については、金色シールを投票した人が5人にのぼっている。
- ・また、意識改革や教育に関連する内容についても各グループから提案が出されており、具体的には福祉教育や制度の活用に向けた意識改革、子どもの意識づけとなっている。
- ・また、商業関連施設のバリアフリー化については2つのグループから提案が出され、それぞれ大型スーパーや商店街についての提案となっている。

②コミュニティの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

- ・コミュニティを担う人材育成について最も票が集まっており、ボランティアの活用や高齢者・大学生の知恵の活用について提案が出されている。
- ・幅広い年齢層などたくさんの人が参加できるようなイベント等についても提案が出され、「耕作放棄地をつかって世代を超えて菜園を」「定期的な行事の開催」といった提案になっている。
- ・また、コミュニティに関しても「広報くさつの活用」について提案されている。
- ・さらに、公共交通に関連して、「市営バスの運行」についても、8票の投票数となっている。

③子どもや高齢者の見守りの視点から、安心して子育てができ高齢期をいきいきと暮らせる地域づくりのアイデア提案

- ・近所づきあいや近所での声かけについて、各グループから提案が出されており、それぞれ「アイサツ運動から井戸端会議まで地域の声かけ・語らいづくり」「近所つきあい」「声をかけよう」といった内容になっている。
- ・子どもの登下校時の見守りやその人材育成についてもそれぞれのグループから提案が出されている。
- ・また、遊び場についても2つのグループからの提案があり、具体的には「見守る人がいる安全な遊び場」「遊び場の確保」といった内容になっている。

④取組み主体に関して

- ・空間整備に関する提案を除いて、市民が主体となって取組むことができる内容の提案が多くなっており、市民のまちづくりへの意識の高さがうかがえる。